

恵里愛（めぐりあい）プロジェクト

生物多様性・めぐりあいちチーム

志水

鈴木

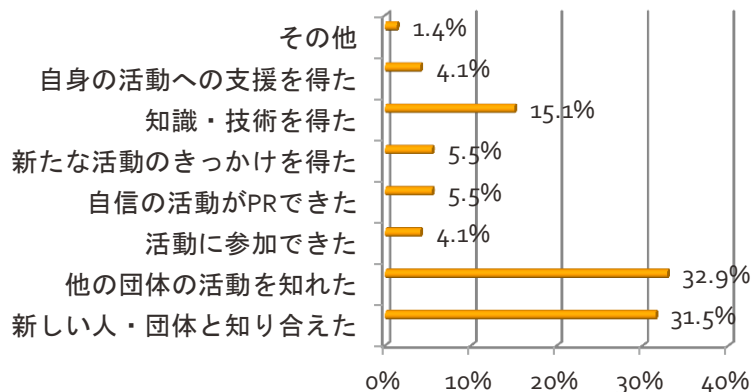
矢嶋

米廣

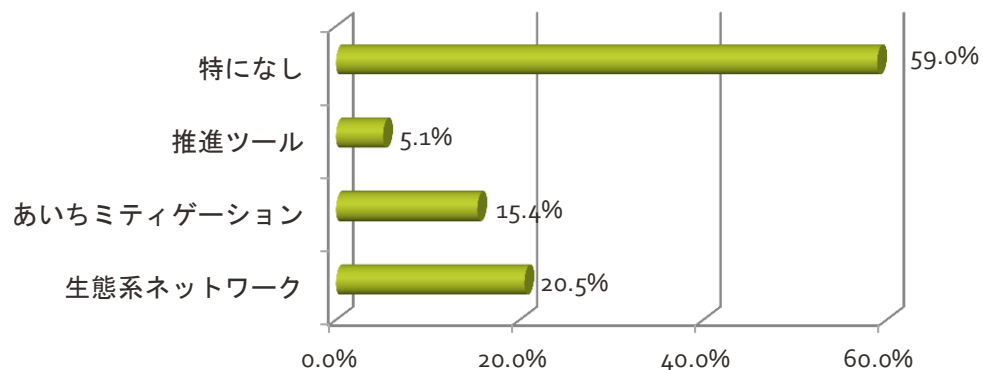
現状把握・課題認識

参考資料 生態系ネットワーク協議会 アンケート結果

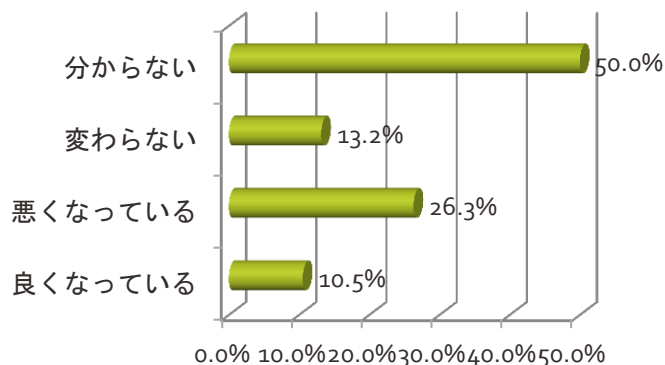
「協議会に参加され良かった点はどのようなところですか？(3つまで回答可)」



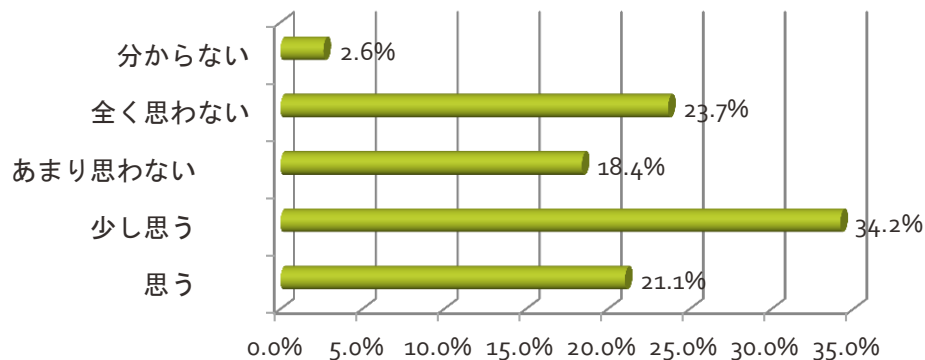
「あいち方式で改善する余地があるものを教えてください。(複数の回答可能)」



「生態系ネットワーク(生物の生息・生育空間(緑地や湿地等のつながり)はどのような状況だと思いますか？」



愛知目標の達成に向けて愛知県内で活動が推進していると思われますか？」



『あいち方式の理解不足』『ネットワーク協議会と県とのつながり不足』²

現状把握・課題認識

「人と自然が共生するあいち」実現のために何が足りないか？

→主流化が進んでいない

→あいち方式が進んでいない

- ・県内で生物多様性地域戦略を立案している市町村が少なく、身近なこととして捉えられていない。

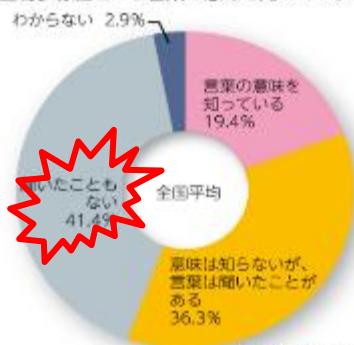
※ 全国 市町村数 1742（平成26年1月1日段階） 62市町村にて地域戦略を立案 4%

愛知県 市町村数 54（平成26年1月1日段階） 3市町村にて地域戦略を立案 7%

- ・「主流化（誰もが生物多様性の大切さを理解している状態）」がなされていない

生物多様性という言葉の認知度低下

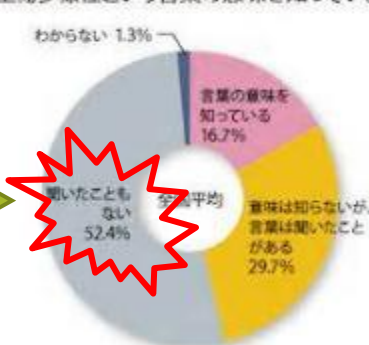
問：生物多様性という言葉の意味を知っていますか？



出典：内閣府 2012年「環境問題に関する世論調査」

2012年 41%

問：生物多様性という言葉の意味を知っていますか？



出典：内閣府 2014年「環境問題に関する世論調査」

2014年 52%

なりゆきの姿

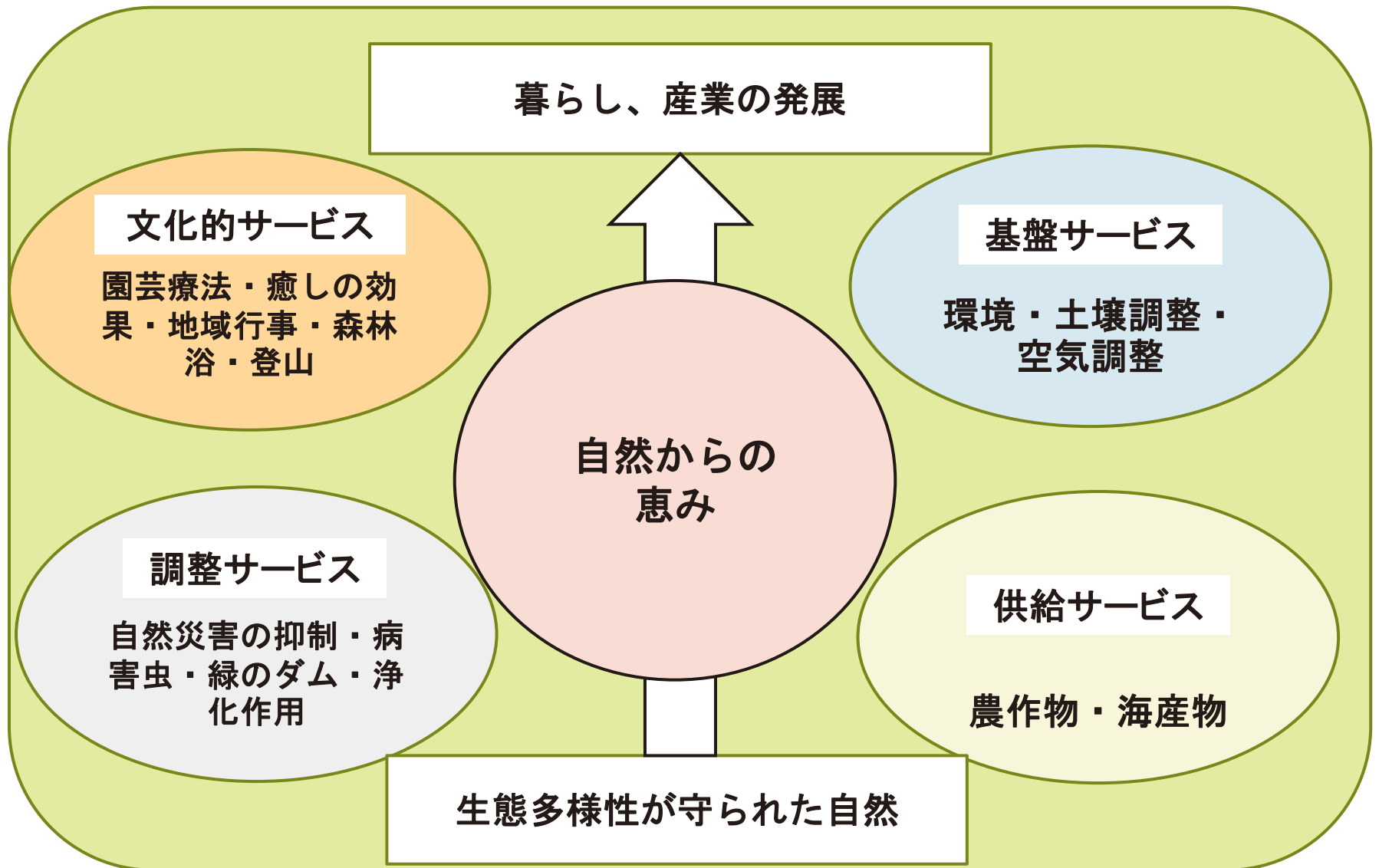
生態系サービスの低下
によって暮らしや産業の危機

あるべき姿

生態系サービスの恵みを
享受できる暮らし・
産業が持続可能な状態で
発展

認知度80%目指す

目指すべき姿



2036年に向けての提言の概要

いきもの共生活動ネットワーク構想を提言 通称: 恵里愛(めぐりあい)プロジェクト

地域コミュニティを主体にプラットフォーム(ユニット)を作り、いきもの共生活動を活性化させる



県内の山・里・都市・沿岸それぞれの生態系が複合的、連続的に緻密にネットワーク化される。



生き物の恵み(生物多様性)が県民ひとりひとりに対し身近なものとなる(主流化される)



「あいち方式」の生態系ネットワークの形成を推進、
人と自然が共生するあいちが実現



提言

☆提言①

生態系ネットワーク推進を目的とした組織づくり

県の組織の中に横断的な各部局からなる、「あいち豊かな恵みを届ける委員会」を組織する。

☆提言②

地域コミュニティ(ユニット)単位の生態系のネットワーク化

1. あいち方式のルール化
2. いきもの共生活動の登録 & 認証システム
3. 人材育成

提言

☆提言①

生態系ネットワーク推進を目的とした組織づくり

県の組織の中に横断的な各部局からなる、「あいち豊かな恵みを届ける委員会」を組織する。

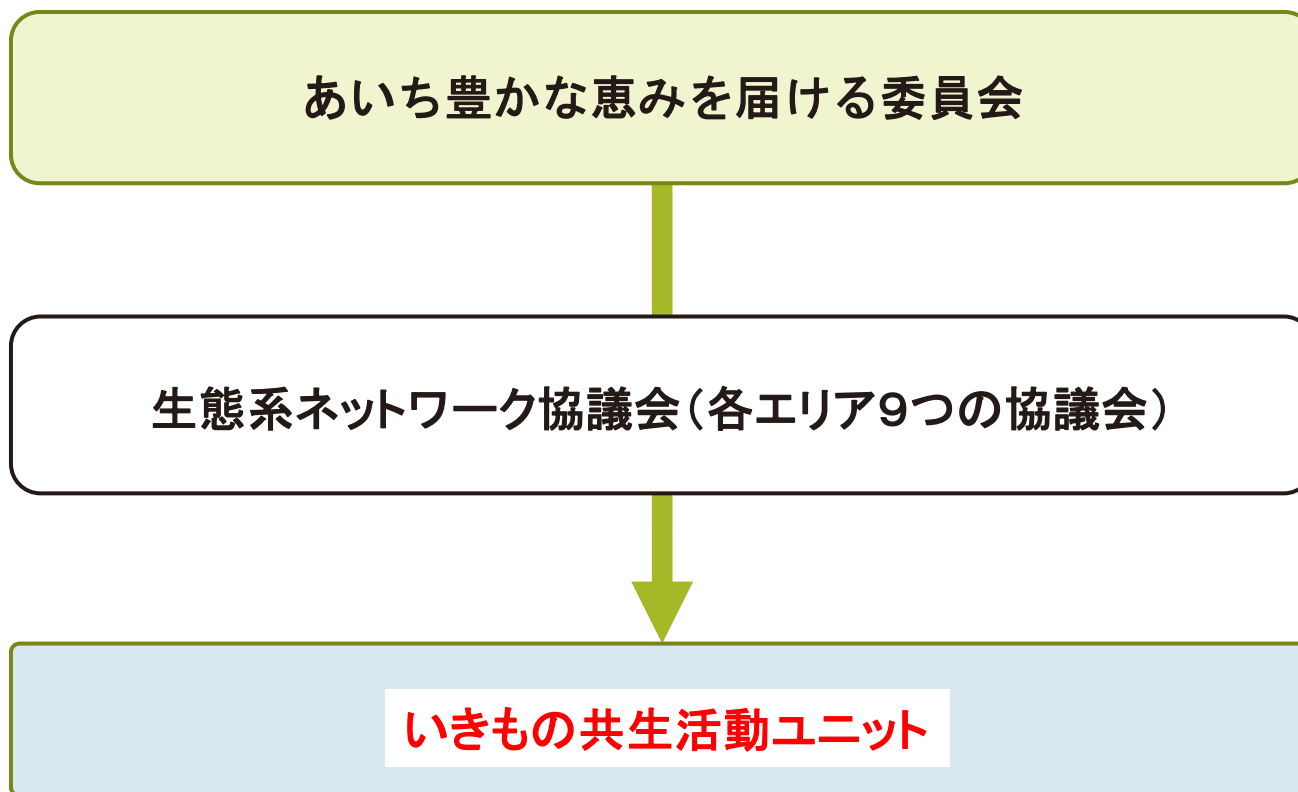
☆提言②

地域コミュニティ(ユニット)単位の生態系のネットワーク化

1. あいち方式のルール化
2. いきもの共生活動の登録 & 認証システム
3. 人材育成

☆提言① 生態系ネットワーク推進を目的とした
組織づくり

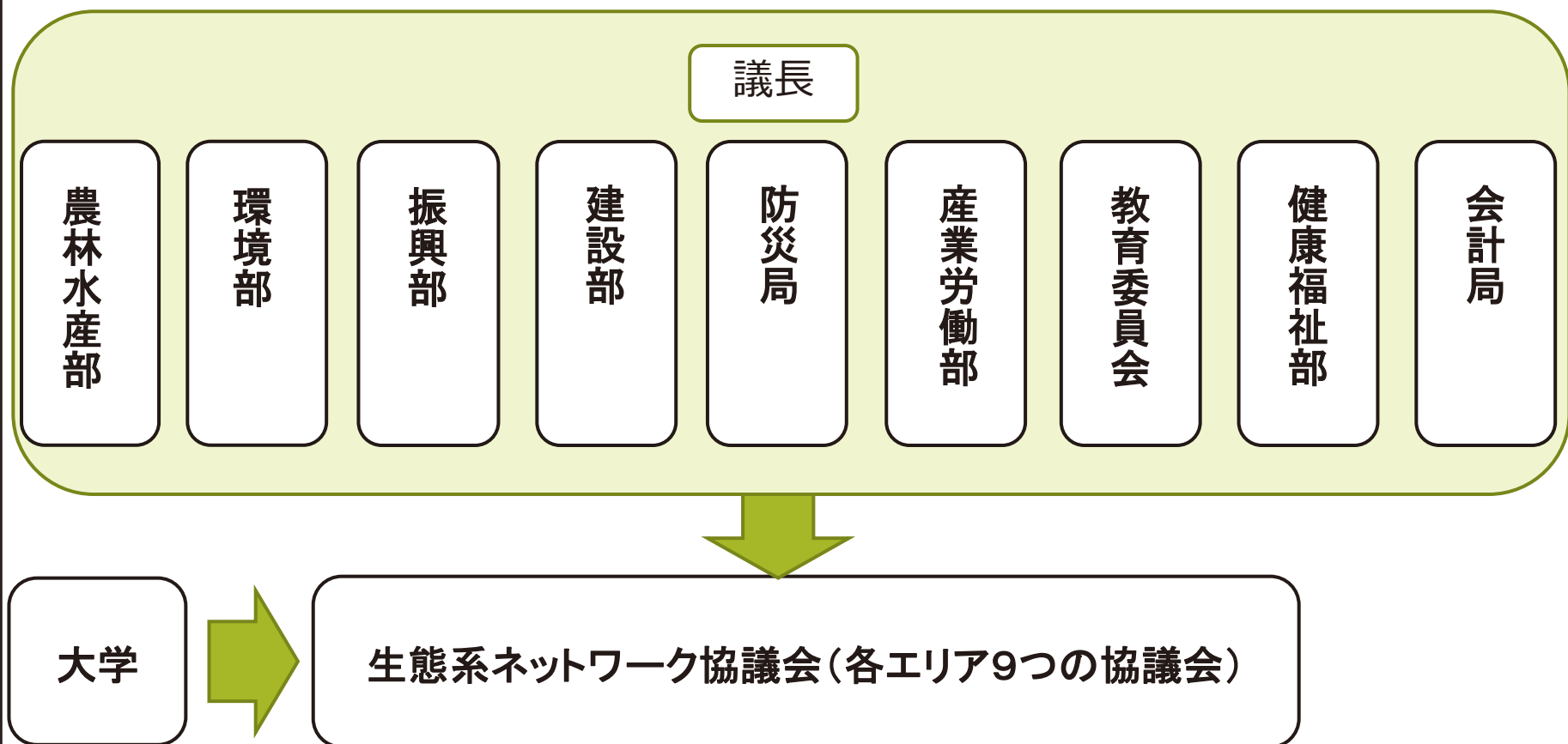
いきもの共生活動ネットワーク構想
通称: 恵里愛(めぐりあい)プロジェクト



☆提言① 生態系ネットワーク推進を目的とした
組織づくり

『あいち豊かな恵みを届ける委員会』

組織案



☆提言① 生態系ネットワーク推進を目的とした 組織づくり

『いきもの共生活動ユニット構想』

いきもの共生活動ユニット コミュニティ単位の生態系のネットワーク化に向けて

企業
EPOC

《メリット》

ISO14001の取組
ESG投資
イメージアップ
ブランド化

銀行

《メリット》

環境経営企業
への融資
マイナス金利対策の為
融資先の確保

地域コミュニティ
学校・子供会
自治体

《メリット》

土地の有効活用
生物多様性の主流化
生態系サービスの
充実

地産地消
緑の効果
学びの場

提言

☆提言①

生態系ネットワーク推進を目的とした組織づくり

県の組織の中に横断的な各部局からなる、「あいち豊かな恵みを届ける委員会」を組織する。

☆提言②

**地域コミュニティ(ユニット)単位の
生態系のネットワーク化**

1. あいち方式のルール化
2. いきもの共生活動の登録 & 認証システム
3. 人材育成

☆提言② 地域コミュニティ(ユニット)単位の生態系のネットワーク化

1. あいち方式のルール化(その1)

『あいち方式』というガイドラインがあるが、県民に浸透しておらず取り組みも弱い。理由はガイドラインという位置付けにより強制力がなくイニシャルコストや維持管理の手間の為積極的に行っていない

現在の**ガイドラインに対し強制力を持たせること**を提案する

愛知県で行われている緑化の取り組み

1. 自然環境保全及び緑化の推進に関する条例及び事務取扱要領
一定規模以上の敷地を有する建築物の新築や増築を行う場合に、定められた面積以上の緑化を義務づける
※建築後も良好に維持保全することが義務付けられる

2. 工場立地法
敷地面積の25%を環境施設にすること
25%の環境施設のうち20%以上を緑地とする



あいちミティゲーション

ミティゲーションの考え方に基づいて、土地利用の転換や開発などにおいて、自然への影響を回避、最小化した後に残る影響を、生態系ネットワークの形成に役立つ場所や内容で代償することにより、開発区域内のみならず、区域外も含めて自然の保全・再生を促す、愛知県独自のしくみ。

☆提言② 地域コミュニティ(ユニット)単位の生態系のネットワーク化

1. あいち方式のルール化(その2)

内容 改善策として

開発行為の許可
緑化地域制度
工場立地法

へ **あいちミティゲーションの定量評価** を組み込む
※あいちミティゲーションを実用化しなくてはならない

- ・ 開発許可申請や、建築確認申請の際に**あいちミティゲーションの定量評価を**もとに**自然環境を数値化し、一定ポイントの義務化**を行う。
- ・ 敷地内にて自然環境の確保ができない場合は**ポイントオフセット**を行う
例) 既存の公園や植栽の維持管理や、ボランティア活動
企業や地域コミュニティの登録制度により代理土地の代理開発(土地のシェアリング)
※ 校庭 屋根貸し 空き家 空き地 ヘビオトープや公園の整備 等
- ・ 生態系に寄与しない植栽に規制をかける

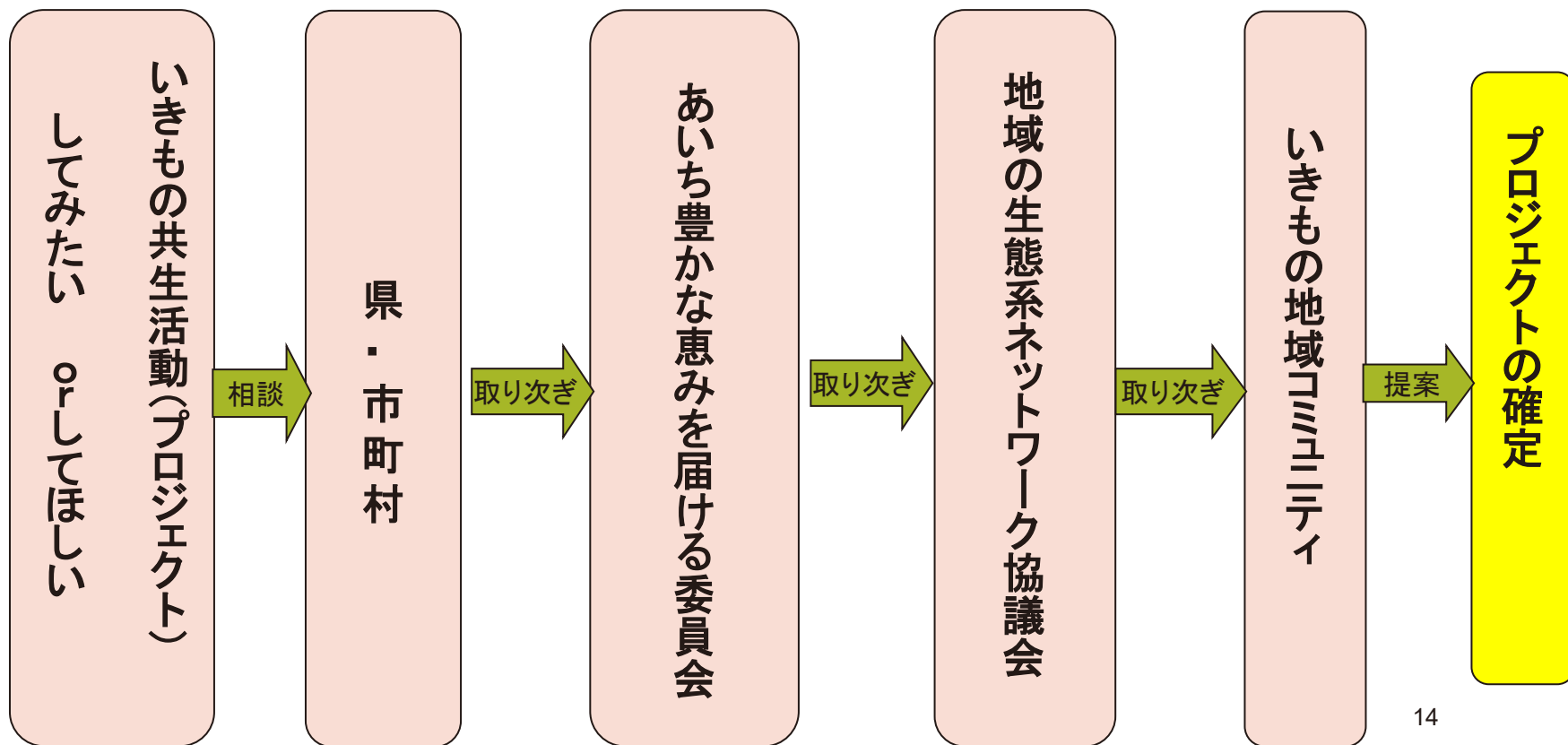
メリット

- ① 緑化内容の**質と量を上昇**させる
- ② 地域の生態系サービスを**充実化**させる
- ③ **予算のない企業、市町村、学校等、土地を貸すことで投資なしで**ビオトープなどの環境施設を手に入れる
- ④ 学びの場、ISO14001、ESG投資など 各分野に**メリット**をもたらし**地域活性化**につながる。

☆提言② 地域コミュニティ(ユニット)単位の生態系のネットワーク化

2. いきもの共生活動の登録&認証システム (通称 MEGネット)

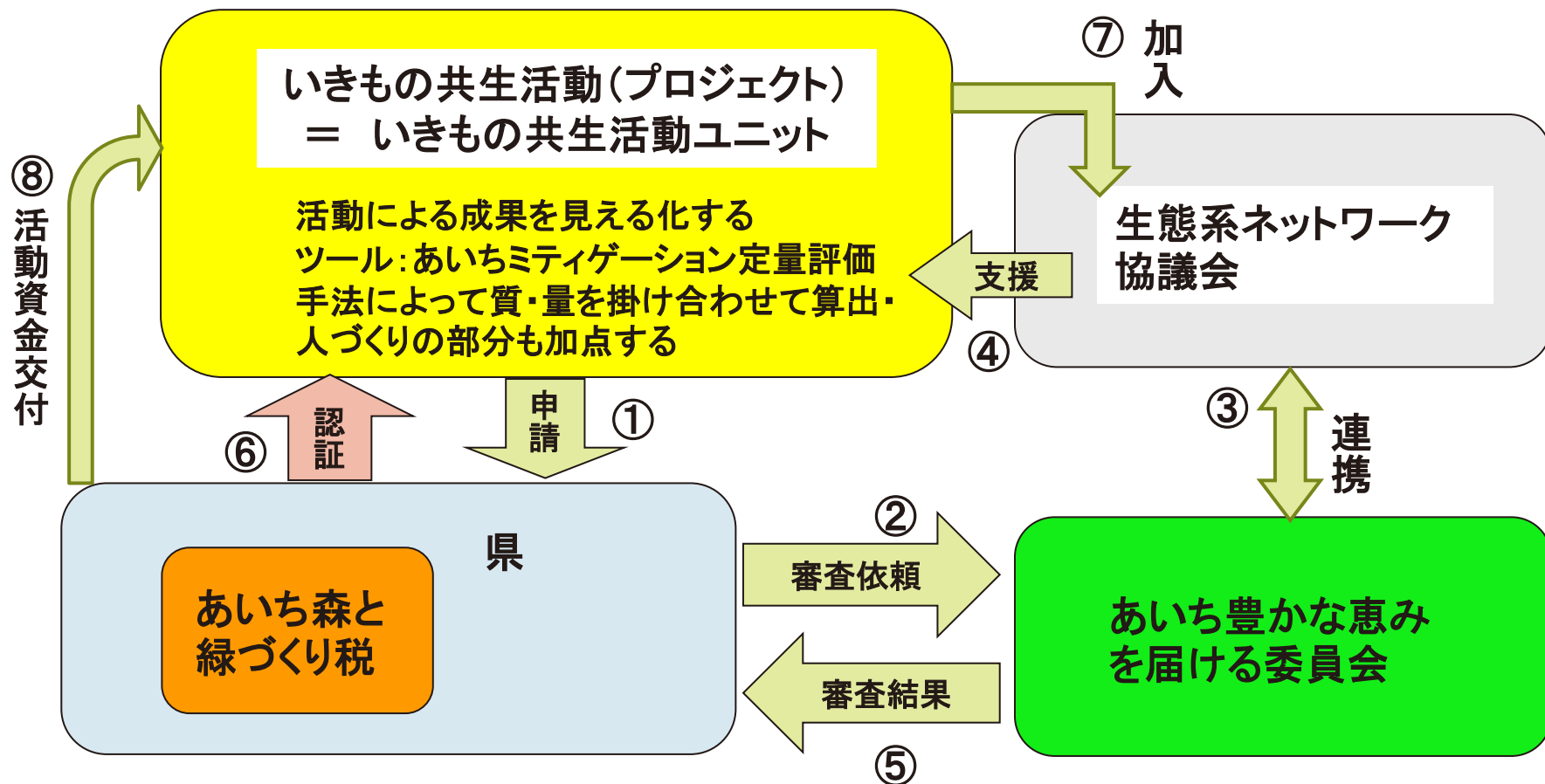
STEP1 プロジェクト確定までのステップ



☆提言② 地域コミュニティ(ユニット)単位の生態系のネットワーク化

2. いきもの共生活動の登録&認証システム (MEGネット)

STEP2 認証までのステップ



☆提言② 地域コミュニティ(ユニット)単位の生態系のネットワーク化

2. いきもの共生活動の登録&認証システム(MEGネット)

STEP3 認定証の発行 ログマークによるブランド化

認証ユニットには認証書の進呈とロゴの使用が認められる。
生物多様性に配慮した消費行動への転換が期待される

認証書イメージ



ログマークイメージ



☆提言② 地域コミュニティ(ユニット)単位の生態系のネットワーク化

2. いきもの共生活動の登録&認証システム(MEGネット) 波及効果

認証されたいきもの共生活動ユニットが活性化、
連動し、愛知県の地域資源を広める

地産地消
宅配での地元コーナー
地元スーパーでの特売
学校給食で「愛知県の日」を増やす
ふるさと納税景品として優先使用

世代を超えた人との交流
人材育成・環境教育

6次産業化

地元愛を育む
地元に関わりたいと思う
活気あふれる地域づくりに貢献

企業のCSR活動として活用
融資されやすくなる

歴史・文化資源
観光資源の保全
史跡、祭り、伝統文化、
景観等

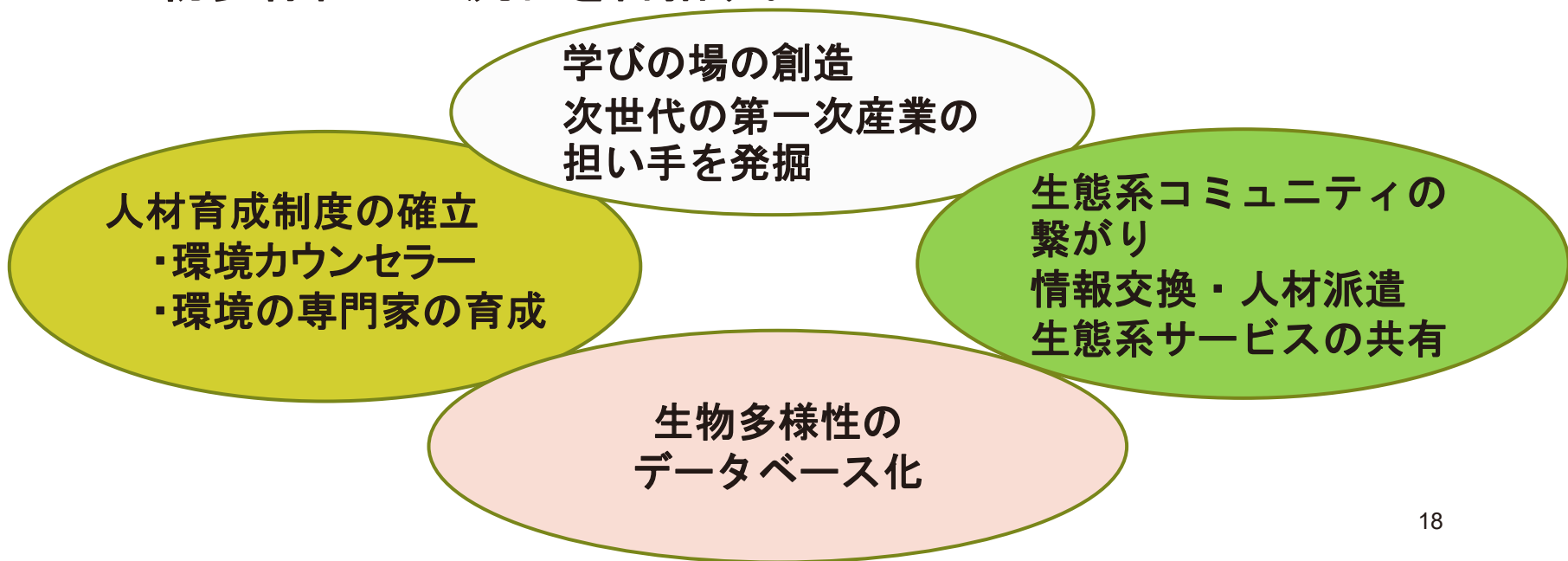
他県、他国へ広める

☆提言② 地域コミュニティ(ユニット)単位の生態系のネットワーク化

3. 人材育成

1. **あいち方式のルール化**、2. **登録・認証システム**の普及によって地域の方まで生物多様性に関心を持つ。

取り組みに必要な生物多様性の知識をいきもの共生活動ユニットの技術提供や人材派遣、また幼い子供たちへの学びの場をすることで生物多様性の主流化を目指す。



波及効果

空気がおいしい
水がおいしい

自然の中で遊ぶ子供
幸せを感じる

あいちのお米
野菜
くだもの
おいしい

主流化の発信
国内外へ

地域が元気に
地元への愛着が生まれ
る

人の心がつながる

自然に恩返しをする
文化を育てる

生態系サービスの恵み

豚⑦
味噌⑤
米⑦

小麦粉⑤
クルマエビ⑥

トマト③

キャベツ⑧

みかん⑦

瀬戸焼①

ハマチ④

味噌⑤



- ① 東部丘陵
- ② 尾張北部
- ③ 尾張南部
- ④ 知多
- ⑤ 西三河
- ⑥ 西三河南部
- ⑦ 東三河
- ⑧ 渥美
- ⑨ 新城・設楽

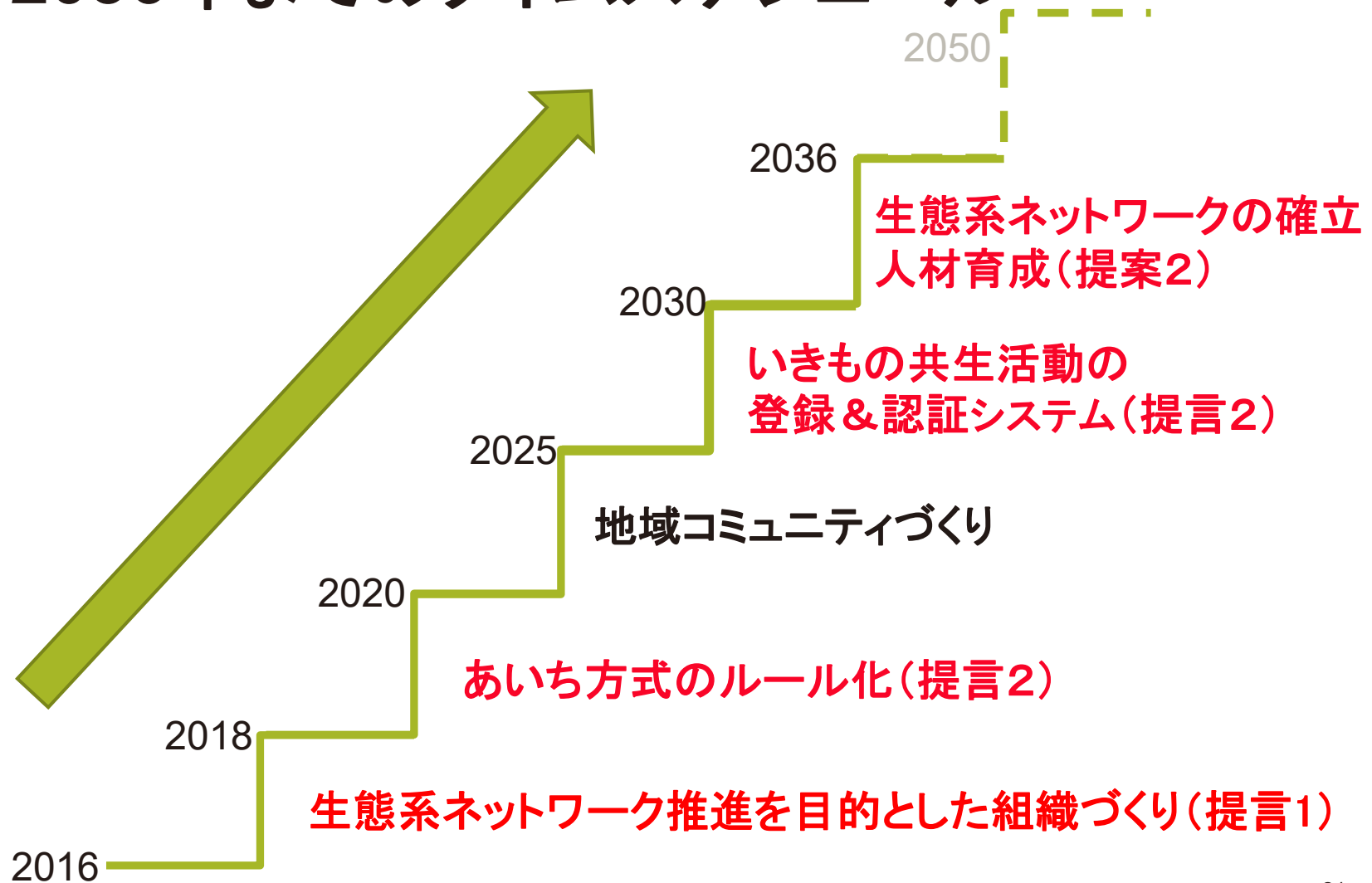
ナス⑤


割り箸(杉)⑨

名古屋コーチン(卵)②

生態系サービスのネットワーク

実現可能性 2036年までのタイムスケジュール





愛知県から世界へ